

## 小学校にて「火災の知識を深める授業」を実施

株式会社パロマ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：小林弘明）は、2月13日（木）に名古屋市消防局、名古屋市瑞穂消防署、株式会社名古屋グランパスエイトと協力し、「火災の知識を深める授業」を実施しました。本活動は今年で4年目を迎え、地域の防火・防災意識向上に貢献しています。



今回の授業は、名古屋市立穂波小学校の4年生55名を対象に行われました。授業では、生徒たちが身近に潜む火災の危険性を理解し、万が一火事が発生した際の適切な対応方法、ガスこんろの安全な使用方法などを学びました。また、実際の消火器を使った体験学習も実施し、防火に対する意識をより深める機会となりました。



■防火ハンドブック

URL・QRコード

<https://www.paloma.co.jp/vc-files/vs-files/csr/safety/pdf/boukahandbook.pdf>



授業で使用した教材「もしものための防火ハンドブック」は、昨年9月1日の防災の日に、名古屋市立の全小学校265校の4年生約18,000人に配布したものです。パロマはガス器具メーカーとしての責任を果たしながら、今後も防災・防火意識の向上に向けた取り組みを続けてまいります。

引き続き、地域の皆さまと協力し、安全・安心な社会の実現に貢献してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社パロマ 広報室 : 052-824-5251 (直通)

内容は発表時のものです。ご覧になった時点で、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。